

憲法的価値から考える

個人情報保護

日時：2022年8月24日（水）13:00～17:30

開催方式：Zoomウェビナーによるオンライン開催

参加無料／事前申込み制

★申込み方法は裏面をご参照ください



ウェブ案内
ページはこちら

個人情報保護法の2020年及び2021年改正により、個人情報保護法制が基本的に民間部門ルールへ一体化が図られるなど大きく制度が変更されました。しかし、憲法的価値の観点から見た場合、この法改正によって、個人情報保護レベルが上がることになるか疑問が持たれています。

特に、自己情報コントロール権がプライバシー権と同様に憲法上の権利として尊重されるべきことが明確化されておらず、個人情報の「利活用」に偏った法制となっていることに加え、個人情報の保護のために個人が救済を求める法的仕組みが不十分なままであることが指摘されています。

本シンポジウムでは、憲法的観点から見た個人情報保護、私法的観点から見た個人情報保護、民間の観点から見た個人情報保護、「EU一般データ保護規則」（GDPR）との比較、個人情報保護条例改正への取組など、個人情報保護に関する重要な論点を幅広く取り上げて、皆さんとともに議論を深めたいと思います。

プログラム

1 基調講演 憲法と個人情報保護法制—自己情報コントロール権論の現在

山本 龍彦 氏（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）

2 講演 日本の個人情報保護法制について～GDPRとの比較の視点から

石井 夏生利 氏（中央大学国際情報学部教授）

3 報告 個人情報保護条例改正に係る昨今の状況

森田 明 弁護士（神奈川県弁護士会／日弁連情報問題対策委員会委員）

4 報告 個人情報保護委員会の現状と課題について

赤石 あゆ子 弁護士（群馬弁護士会／日弁連憲法問題対策本部委員）

5 ビデオメッセージ マイクロソフトにおけるプライバシー保護

Christopher Calabrese 氏
（Microsoft シニアディレクター グローバルプライバシーポリシー担当）

6 パネルディスカッション 「個人情報保護のあり方を多角的視点から考える ～個人情報保護レベルの向上に向けて～」

- ◆パネリスト◆
- 玉蟲 由樹 氏（日本大学法学部教授）
 - 崎村 夏彦 氏（My Data Japan 理事長）
 - 森 亮二 弁護士（第一東京弁護士会）
 - 山口 宣恭 弁護士（奈良弁護士会／日弁連情報問題対策委員会委員）
 - ◆コッテター ◆ 穴戸 常寿 氏（東京大学法学部教授）
 - 山本 龍彦 氏（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）
 - ◆コーディネーター ◆ 大住 広太 弁護士（第二東京弁護士会／日弁連憲法問題対策本部委員）

8/24 (水) オンラインシンポジウム 憲法的価値から考える個人情報保護

参加申込み方法

下記URLまたは二次元バーコードから申込みフォームにアクセスいただき、必要事項をご入力の上、お申し込みください。

【参加申込みフォーム】

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kkkkjhm/kojinjoho/>



参加申込み期限

2022年8月19日 (金)

※期限を過ぎてのお申し込みは受付できません。

当日の参加方法

お申込みの際にご登録いただいたメールアドレス宛てに、①ウェビナー参加者用URL、②配布資料データを**8月23日(火)**にお送りいたします。当日、①のURLからアクセスしてください。

※メールアドレスに誤りがあると送信できませんので、ご入力の際はご注意ください。

【注意事項】

- ①パソコン、タブレット、スマートフォンなど、インターネット接続のできる機器とインターネットをご利用いただける環境を参加者各自でご用意ください。参加にかかる機器利用及びインターネット接続にかかる通信料は各参加者の自己負担となります。
- ②Zoomについては、Zoomサービス規約の内容をご確認いただき、同意の上でご利用ください。
- ③Zoomウェビナーへの参加にあたり、Zoom上でお名前とメールアドレスの入力が必要です。
<https://zoom.us/jp-jp/terms.html>
- ④あらかじめ視聴を希望される機材でZoomのインストールをお願いいたします。
<https://zoom.us/download>
- ⑤シンポジウム開催前日までに、下記リンクよりZoomの利用が可能であるかテストいただくことを推奨します。 <https://zoom.us/test>
- ⑥当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合、やむを得ずシンポジウムを中止する可能性があります。また、PC環境・通信状況等の不具合については日本弁護士連合会では責任を負わず、サポート対応等も行いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⑦日本弁護士連合会では、本シンポジウムの内容を記録し、また、成果普及に利用するため、本シンポジウムの様子の録画、写真撮影及び録音を行っております。撮影した写真・映像及び録音した内容は、日本弁護士連合会の会員向けの書籍のほか、日本弁護士連合会のホームページ、パンフレット、一般向けの書籍等にも使用させていただくことがあります。
- ⑧報道機関による取材が行われる場合、撮影された映像・画像はテレビ、新聞等の各種媒体において利用されることがあります。
- ⑨配信内容の撮影・録音等をご遠慮願います。参加者個人での録音・録画・キャプチャ等を利用した記録や二次使用は固くお断り申し上げます。

【個人情報の取扱いについて】

ご提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本シンポジウムの運営のために利用します。また、この個人情報に基づき、日本弁護士連合会又は日本弁護士連合会が委託した第三者から、シンポジウム等のイベントの開催案内、書籍の御案内その他当連合会が有益であると判断する情報をご案内させていただくことがあるほか、個人情報は、統計的に処理・分析し、その結果を個人が特定されないよう統計情報として公表することがあります。